

岸和田市津波ハザードマップ

津波避難ビル一覧表		
津波時の緊急的な避難先です。津波から身を守るためには、津波浸水予測区域域外(概ね南海本線より東側(山側))に避難することが基本ですが、津波襲来に気づくのが遅れた人や、逃げ遅れ等で迅速に避難できない人が一時もしくは緊急避難・退避する施設です。		
No	施設名	住所
①	おおししょうがっこう 大芝小学校 (3F廊下)	いそのかみちよう2-4-1 磯上町2-4-1
②	はるきちやうがっこう 春木中学校 (3F廊下、屋上)	まつかぜちよう10-65 松風町10-65
③	はるきしやうがっこう 春木小学校 (3F教室・会議室・廊下)	はるきみやがちよう11-13 春木宮川町11-13
④	らばーくましか ラパーク岸和田 (3F・4F・屋上の駐車場)	はるきちかまつちよう21-1 春木若松町21-1
⑤	はるきみなきじくるまこ 春木南地車庫 (2F)	はるきいずみちよう3 春木泉町3
⑥	ちやうしょうがっこう 朝陽小学校 (3F廊下)	かみのちようにし1-28 上野町西1-28
⑦	のむらちやうがっこう 野村中学校 (3F廊下)	しものちよう2-13-18 下野町2-13-18
⑧	なみきりほーる 浪切ホール (2Fラウンジ・廊下、3F避難経路・機械室等、4F廊下)	みなとみどりまち1-1 港緑町1-1
⑨	しりつこうみんかん・ちやうあうちくこうみんかん 市立公民館・中央地区公民館 (3F会議室・ロビー、4F多目的室・ロビー)	さかいまち1-1 堺町1-1
⑩	きしわたしぜんしんしやうかん きしわた自然資料館 (屋上)	さかいまち6-5 堺町6-5
⑪	きしわたしやくしよべっかん 岸和田市役所別館 (3F・4F廊下、屋上)	ほんまち6-1 本町6-1
⑫	きしわたこうとうがっこう 岸和田高等学校 (3F・4F廊下)	きしきちよう10-1 岸城町10-1
⑬	はましやうがっこう 浜小学校 (3F教室・廊下)	かみやちよう12-20 紙屋町12-20
⑭	おおさかもくさしやうしょうがいかいけん 大阪木材商業会館 (3F廊下、屋上)	もくざいちよう15-8 木材町15-8
⑮	きしわたしつかしくりんせんたー 岸和田市貝塚市クリーンセンター (4F作業場(ゴミプラットホーム))	きしのうちよう11-2 岸之浦町11-2

津波発生時の心得

南海トラフ巨大地震が発生すると、岸和田市内の地震動は最大震度6弱、津波は地震発生後約93分で最大高4.4mの津波が到達すると想定されています。テレビやラジオ等の情報に注意し、**南海本線より東側(山側)**へ徒歩で避難しましょう。また、津波は何度も押し寄せてきます。水が引いても安全が確認できるまで避難場所等に留まりましょう。

①地震の揺れを感じたら津波に注意！

②テレビ・ラジオや岸和田市の広報で正しい情報を！

③避難情報が出たらすぐに避難！

④避難は徒歩で！

⑤海岸や川には近づかない！

⑥地域での協力が大切です！

⑦高齢者や身体の不自由な方等の避難に協力を

⑧水が引いても安全が確認できるまで戻らない



避難所について

●指定緊急避難場所
概ね1ヘクタール以上の広さの公園や広場等で、一時的に避難できる場所

●指定避難所
災害による浸水や破損等によって自宅に居ることができなくなったときやそのおそれがあるときに避難する施設
※津波襲来の恐れがある場合に開設しない沿岸部の避難所は、このマップに表示していません。

●津波避難ビル
逃げ遅れにより南海本線より東側(山側)まで避難できない人が一時的に避難する建物

凡例

施設

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 津波避難ビル
- 避難時要注意箇所(地下道)
- 市役所
- 警察署・交番
- 消防署
- 病院
- 防災行政無線
- 主要道路
- 市界
- 避難経路

最大浸水深

4.0m～5.0m
3.0m～4.0m
2.0m～3.0m
1.0m～2.0m
0.3m～1.0m
0.01m～0.3m

逃げろ!!
南海本線より
東側(山側)へ
とにかく逃げる

津波のシミュレーション前提条件

内閣府公表モデルのうち大阪府への最大影響を想定
対象地震：内閣府ケース3、4、5、10 重ね合わせ
堤防取扱い：越流時に破堤(堤防なしとする)
構造物条件組み合わせ(3条件の組み合わせ)：

	防潮堤等	水門	陸閘
条件1		開放	
条件2	地震時沈下量を考慮	閉鎖	
条件3	地震時沈下量なし	開放	閉鎖

地震の規模等によっては本マップに示されていない場所でも浸水する可能性や、示されている以上の浸水深となる可能性がありますので注意してください。

出典：大阪府津波浸水想定 平成25年8月 大阪府